

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	23	-	事業名	社会教育事務事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える		
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 生涯学習課生涯学習係が分担する事務の総務 ・生涯学習の推進のため、生涯学習情報の提供を目的とした印刷物の作成 ・文化芸術の学習の場の提供として市内の小中学校の開放				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 情報提供や、学習の場・発表の場の充実により、市民が自主的に生涯学習を行えるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 生涯学習情報誌事業	継続	④		
	② 学校開放事業	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	537
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	2,700
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	3,237

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	生涯学習情報誌発行部数	冊	目標	3,000	3,000	5,000	5,000
実績				3,000	3,000	5,000	5,000	
B	学校開放事業利用人数	人	目標	40	200	250	50	
			実績	45	257	256	6	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 年2回発行。前期+後期冊数。目標根拠: 公共施設への配架数+DM数								
B 学校図書館の開放事業を廃止したため多目的室の利用人数のみ(北中学校及び北小学校) 目標根拠: 前年度実績								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、瀬戸市、日進市、東郷市、みよし市でも生涯学習に関する情報誌を作成している。
------	-----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 情報誌に関しては、前期後期共に退職後世代約1,000名にDMで配布することができた。学校開放事業が1件のみの利用であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 情報誌の内容充実と学校開放事業の周知の徹底。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 生涯学習をとおして他者とつながることができるように、生涯学習を身近に感じる情報提供の充実や学びの場・発表の場の提供を行う。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	社会教育事務事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

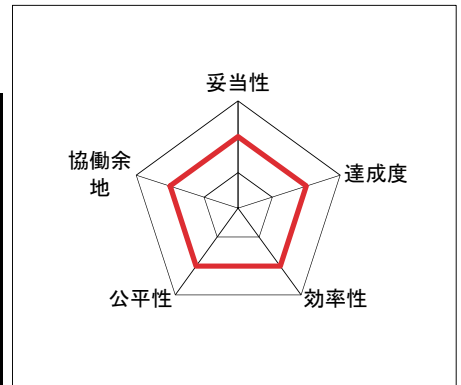
番号	①	事務事業名	生涯学習情報誌事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や、市内講座・ボランティアに参加したい方に各種講座や社会教育関係団体を紹介し、学習情報の充実に努める。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内講座・ボランティアに参加し積極的に生涯学習に取り組むようにする(特に、定年退職後世代)。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				614
		決算				534

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
生涯学習情報誌発行部数	冊	目標	3,000	3,000	3,000	5,000	
		実績	3,000	3,000	3,000	5,000	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)  
26年度から、退職後世代を生涯学習へ導く手段の一つとして60歳及び61歳の市民に生涯学習情報誌を配布した。

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)  
定年退職後の世代が、生涯学習を通じて地域へ関わる事ができる環境づくりを進める。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	社会教育事務事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

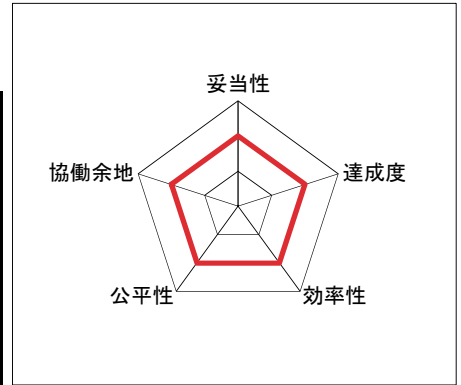
番号	②	事務事業名	学校開放事業												
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	土曜日に長久手市立北小学校及び北中学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の文化活動等のために開放する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	学校を生涯学習の場として提供する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				131
		決算				3

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
学校開放事業利用人数	人	目標	40	200	250	50	50
		実績	45	257	256	6	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

学校開放事業を行っている情報が現在、HPのみの掲載であるため、広報紙等で広く周知を図る。学校教育に支障のない範囲で生涯学習の場の提供を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

北小学校の図書館開放事業を廃止したため、平成27年度から利用人数が少なくなっている。学校開放で北小学校や北中学校が土曜日に開放され利用できると知っている人が少ない。